1 かわさきいきいき長寿プラン

～「川崎らしい都市型の地域居住の実現」をめざして～

川崎市では、令和３(2021)年度から3年間の高齢者福祉施策に関する事業計画である「第８期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（かわさきいきいき長寿プラン）について、学識経験者、保健・福祉・医療に関する関係機関、ボランティア団体の代表者、市民の公募委員などで構成する「高齢者保健福祉計画策定推進委員会・介護保険運営協議会合同会議」において検討を進め、令和３(2021)年３月に、第８期かわさきいきいき長寿プランを策定しました。

この計画では、「川崎らしい都市型の地域居住の実現」をめざし、①高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり、②介護が必要になっても「かわさき」で暮らし続けられる支え合いのまちづくりを基本目標として、次の5つの取組のもと、すべての高齢者が、“あんしん”して生活できるような施策を展開しています。

なお、この計画は、第８期計画期間だけでなく、高齢化が一段と進む令和７(2025)年及び令和22(2040)年までのサービスの充実の方向性を定め、中長期的な視点に立って計画を策定しました。

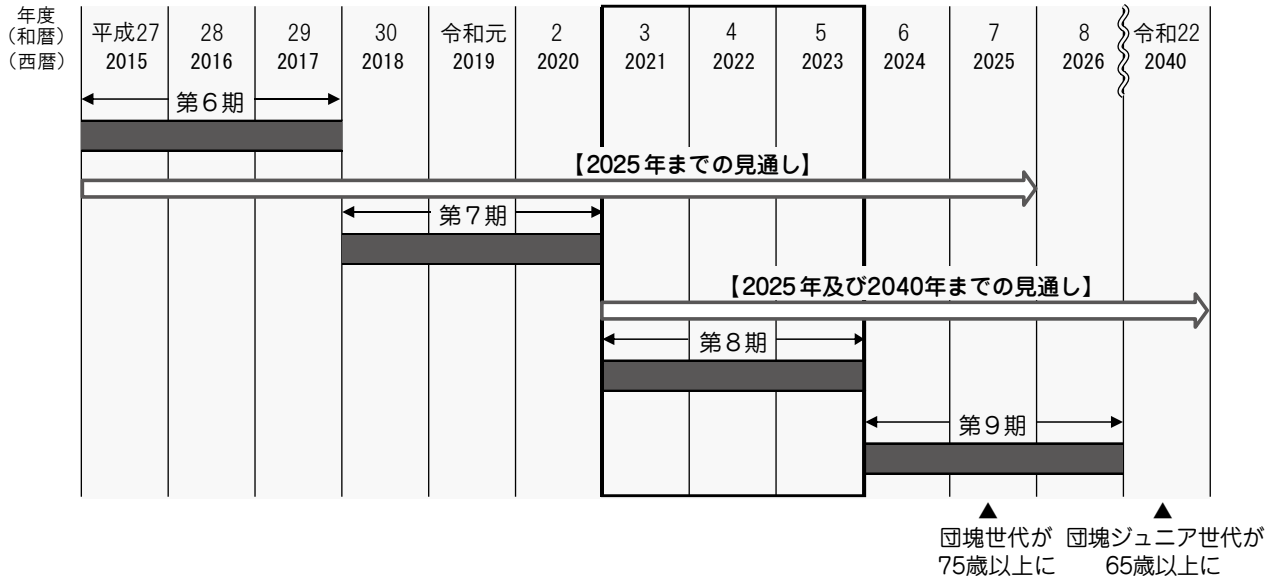
また、地域包括ケアシステムの構築を見据え、本市としての基本的な考え方を明確にするため、高齢者施策をはじめ、関連する個別計画を包括的・一体的に推進するための上位概念となる「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」を策定し、様々な取組を推進しています。

今後は、新たな課題や引き続き検討すべき課題を整理するとともに、高齢者実態調査のニーズを踏まえ、令和６(2024)年度からの３年間を計画期間とする第９期かわさきいきいき長寿プランを令和６(2024)年３月までに策定します。

５つの取組

① いきがい・介護予防施策等の推進
② 地域のネットワークづくりの強化
③ 利用者本位のサービスの提供
④ 医療介護連携・認知症施策等の推進
⑤ 高齢者の多様な居住環境の実現

【計画の期間】



５つの取組の概要

取組Ⅰ　いきがい・介護予防施策等の推進

ⅰ）主体的な健康づくり・介護予防に向けた取組
ⅱ）身近で多様な通いの場の充実
ⅲ）いきがいづくり・社会参加の促進
ⅳ）早期発見及び予防的介入の強化
ⅴ）外出支援施策の推進

取組Ⅱ　地域のネットワークづくりの強化

ⅰ）地域のネットワークづくりの推進
ⅱ）ひとり暮らし高齢者等の支援の推進
ⅲ）相談支援ネットワークの充実

取組Ⅲ　利用者本位のサービスの提供

ⅰ）介護保険サービス等の着実な提供
ⅱ）地域密着型サービスの取組強化
ⅲ）かわさき健幸福寿プロジェクトの推進
ⅳ）介護人材の確保と定着の支援
ⅴ）ウェルフェアイノベーションとの連携
ⅵ）川崎市複合福祉センター　ふくふく

取組Ⅳ　医療介護連携・認知症高齢者施策等の推進

ⅰ）在宅医療・介護連携の推進
ⅱ）認知症施策の推進
ⅲ）権利擁護体制の推進

取組Ⅴ　高齢者の多様な居住環境の実現

ⅰ）高齢者の生活の基盤となる住まいの安定確保
ⅱ）在宅生活が困難な方のための介護サービス基盤の整備
ⅲ）居住の安定確保に向けた住宅セーフティネットの構築